

日本臨床発達心理士会中国・四国支部第51回研修会のご案内

総会に引き続き、次のような研修会が開催されます。たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。事前の申し込みは不要です。当日、資料代 500 円を徴収します。研修会の参加者ポイントは研修会の参加者ポイントは（1）区分 1 ポイント（3 時間）です。

1. 日 時 2019 年 5 月 26 日（日）14:00～17:00

2. 場 所 岡山大学教育学部東棟 2 階 1201 室
（〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 津島キャンパス）
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

3. 概 要

テーマ「臨床発達心理士の専門性をいかに高めることができるか：適応型言語能力検査（ATLAN）の活用とその周辺」

講 師：高橋 登（大阪教育大学）

司 会：深田昭三（愛媛大学）

臨床発達心理士としての専門性をいかに高めていくことができるだろうか。今回は特に、特別支援教育領域において広く活用されている適応型言語能力検査（ATLAN）に着目し、児童・生徒の言葉の習得に関するアセスメントとその支援の実際を学ぶことを目的とする。

臨床発達心理士は、当該検査の利用資格を有している。ただし、臨床発達心理士としての専門性を考えると、その検査の背景にある発達心理学／言語心理学的知見を踏まえた上で、検査を実施し、かつ、保護者や子どもの教育・支援に携わる専門家へと、結果を伝え、具体的な支援の提案を行っていく必要がある。これは、同検査の利用に限らず、その他の検査を活用するうえでも、必要となる専門性であろう。

そこで、今回は、ATLANの開発者である高橋登（大阪教育大学）先生をお招きし、同検査の利用に関し、理論と実践の両面から説明をいただいた上で、長年、臨床発達心理士としてご活躍されてきた経験を活かして、これからの臨床発達心理士に求められる専門性について示唆を与えていただく。また、会の最後は、参加者とともに、「私たちが考える臨床発達心理士としての専門性」について、講師を交えて意見を交換し、今後の中国四国支部の研修の充実に向けた機会としていきたいと考える。

ご注意とお知らせ

2017年4月以降、支部研修会等での資格更新ポイントの管理は「会員情報管理システム（SOLTI）」で行われています。IDカードに貼付または印字されているバーコードを読み取り、参加受付をいたします。支部研修会の参加にあたっては、以下の点をご確認ください。

(1) 開始後10分以上の遅刻をした場合及び終了10分以上前に退出をした場合は、資格更新ポイントの発行はできません。

(2) 参加の際には、IDカードをご持参ください。お忘れの場合は資格更新ポイントの発行はできません。なお、参加記録ノートは不要です。

(3) IDカードにバーコードが貼付または印字されていることを事前にご確認ください。

(4) 開催年度までの会費を納付済であることを日本臨床発達心理士会の会員情報管理システムで事前にご確認ください。未納付の場合は資格更新ポイントの発行はできません。